



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証 1 部)
本社所在地	滋賀県草津市野路東七丁目 4 番 3 8 号
代表者	代表取締役社長 仲尾 功一
問合せ先	専務取締役 松崎 修一郎
TEL	(077) 565-6970
URL	http://www.takara-bio.co.jp/

WaferGen Bio-systems, Inc の株式取得 (子会社化) に係る 買収合意書締結に関するお知らせ

当社は平成 28 年 5 月 13 日開催の取締役会において、下記のとおり、当社の 100%子会社である Takara Bio USA Holdings Inc. 社 (TBUSH 社) が WaferGen Bio-systems, Inc 社 (WaferGen 社) の株式を取得し子会社化すること (本株式取得) について買収合意書 (Merger Agreement) を締結することを決議し、同契約を締結しましたので、下記の通りお知らせします。なお、本株式取得は、今後実施される予定の WaferGen 社の株主総会における承認を含む諸条件の充足を経て、平成 29 年 3 月頃に法的効力が生じることを予定しております。

1. 株式取得の理由

当社グループではバイオ研究者向けに研究用試薬、理化学機器、及び受託サービスを提供しております。特に Clontech ブランド製品では、近年利用が盛んな次世代シーケンサー向けの試薬キットの開発に注力しており、独自技術である SMART 技術を用いて超微量 RNA サンプルから効率よく遺伝子の特異的に増幅する試薬キットを開発しております。また、最近ではクリニカル領域での使用を視野に入れた自動解析装置用に最適化された反応系開発にも取り組んでおります。

一方、WaferGen 社は、シングルセル (1 細胞) 解析用装置並びに試薬キットや、独自の微量多検体 qPCR 装置をバイオテクノロジー企業、製薬企業、臨床検査ラボに対して提供しております。

買収後は、WaferGen 社の有するシングルセル解析をはじめとした関連技術と当社グループの持つ分子生物学関連技術が組み合わせられる事により、装置販売による売上増のみならず、シングルセル解析用試薬キット製品の売上増に繋げるなど、高い相乗効果を期待しております。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	WaferGen Bio-systems, Inc (注 1)
(2) 所在地	34700 Campus Drive, CA 94555 United States
(3) 代表者の役職・氏名	Dr. Rolland Carlson, CEO, President and Director

(4) 事業内容	研究用試薬・装置の製造・販売		
(5) 資本金	120,329 千ドル (13,091 百万円 ; 注2) 平成 27 年 12 月 31 日現在		
(6) 設立年月日	平成 14 年 10 月 22 日		
(7) 大株主及び持ち株比率	Affiliates of Sabby Management, LLC (9.96%) (注3)		
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本的関係	記載すべき当該事項はありません。	
	人的関係	記載すべき当該事項はありません。	
	取引関係	記載すべき当該事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	記載すべき当該事項はありません。	
(9) 当該会社の最近 3 か年の連結経営成績及び連結財政状態 (注2)			
決算期	平成 27 年 12 月期	平成 26 年 12 月期	平成 25 年 12 月期
連結純資産	15,697 千ドル 1,707 百万円	14,080 千ドル 1,531 百万円	▲1,214 千ドル ▲132 百万円
連結総資産	22,873 千ドル 2,488 百万円	20,707 千ドル 2,252 百万円	12,031 千ドル 1,308 百万円
1 株当たり連結純資産 (注4)	2.0 ドル 218 円	5.5 ドル 598 円	▲4.0 ドル ▲435 円
連結売上高	7,167 千ドル 779 百万円	6,001 千ドル 652 百万円	1,305 千ドル 141 百万円
連結営業利益	▲15,092 千ドル ▲1,642 百万円	▲12,405 千ドル ▲1,349 百万円	▲9,922 千ドル ▲1,079 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	▲19,993 千ドル ▲2,175 百万円	▲10,693 千ドル ▲1,163 百万円	▲17,712 千ドル ▲1,927 百万円
1 株当たり連結当期純利益 (注4)	▲2.6 ドル ▲283 円	▲4.2 ドル ▲457 円	▲58.2 ドル ▲6,322 円
1 株当たり配当金	-	-	-

(注1) WaferGen 社は米国 NASDAQ 市場に上場しております。

(注2) 1 ドルは 108.8 円 (平成 28 年 5 月 12 日時点) で換算しております。

(注3) 平成 28 年 3 月末時点における発行済株式数 18,753,615 株に基づき 5%以上を保有する把握可能な株主のみ記載しております。

(注4) 1 株当たり連結純資産および 1 株当たり連結当期純利益の算出においては、期中平均株式数を使用し算出しております。

3. 株式取得数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	なし
(2) 取得株式数	18,753,615 株 (注5) (議決権の数 : 18,753,615 個)

(3) 取得価額	買収合意書で取り決めた算定方法に基づいて、今後決定される予定です。(WaferGen 社の平成 28 年 12 月期連結売上高に一定の倍率を乗じた金額から、預託金の未返済残高(注 6)を含む一定の調整項目を考慮して取得金額を決定します。ただし、取得価額の上限は 50 百万米ドル(5,440 百万円;注 2)とします。)
(4) 異動後の所有株式数	18,753,615 株(注 5) (議決権の数:18,753,615 個) (議決権所有割合:100%)

(注 5) 最終的な取得株式数および異動後の所有株式数は、取得価額に基づき決定されます。また、本株式取得は、TBUSH 社が本株式取得のために設立した特別目的会社を、WaferGen 社を存続会社とする形で同社に合併させることで実施されます。なお、当該合併の際、WaferGen 社の既存株主には、対価として取得価額を現金で支払う予定です。

(注 6) 本買収合意書の締結と同時に、本株式取得に関連して、TBUSH 社は WaferGen 社との間で、TBUSH 社が WaferGen 社に対して預託金を支払う旨の契約書 (Deposit Agreement) を締結しております。当該預託金の支払いは、諸条件の充足を条件として二回に分割して実施されることを予定しており、第一次預託金については、WaferGen 社の株主総会における本株式取得の承認及び WaferGen 社による当該承認に係る米国証券取引委員会 (SEC) への登録が実施された後に 2.5 百万米ドル (272 百万円;注 2) が支払われ、第二次預託金に関しては、平成 29 年 1 月に 2.5 百万米ドル (272 百万円;注 2) が支払われる予定です。支払い後の当該預託金に関しては、クロージング日の 10 営業日前までの間において全額又は部分的に返済できる権利を WaferGen 社は有しており、買収合意書が解消された場合 (当社グループの買収合意書違反によって解消される場合を除く) には、全額を返済する義務を WaferGen 社が負う旨を合意しております。また、取得価額の決定時点における当該預託金の未返済残高は、取得価額の控除項目の一つとして考慮される予定です。

4. 日程

(1) 契約締結日	平成 28 年 5 月 13 日
(2) WaferGen 社株主総会決議見込み日	平成 28 年 8 月頃
(3) WaferGen 社による 2016 年 12 月期決算確定並びに取得価額決定見込み日	平成 29 年 2 月頃
(4) クロージング見込み日	平成 29 年 3 月頃

5. 今後の見通し

本件のクロージングは平成 29 年 3 月を見込んでおります。本件の当社の当期連結業績に与える影響は軽微となる見通しです。

(参考)

1. TBUSH 社の概要

(1) 名称	Takara Bio USA Holdings, Inc.
(2) 所在地	1290 Terra Bella Avenue, Mountain View, California 94043, U.S.A.
(3) 代表者の役職・氏名	Koichi Nakao, President
(4) 事業内容	子会社の管理
(5) 資本金	70,857 千米ドル (7,709 百万円 ; 注 2)
(6) 設立	平成 17 年 7 月

2. タカラバイオ株式会社 平成 29 年 3 月期連結業績予想及び前期連結実績

(平成 28 年 5 月 9 日公表)

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
当期連結業績予想 (平成 29 年 3 月期)	31,000	2,700	3,050	1,300
前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	29,729	2,667	3,301	1,334

3. 語句説明

(1) 次世代シーケンサー

従来のサンガー法を基にしたシーケンサーとは異なる原理に基づいた塩基配列解析装置で、数百から数億個の塩基配列データを並列に大量取得することができます。

(2) SMART 技術

タカラバイオ USA 社が特許を保有する技術で、**Switching Mechanism At 5' end of RNA Template**の頭文字を取って SMART[®]法と呼んでいます。PCR アダプター配列を直接付加して完全長 cDNA 合成できるため感度が良く、超微量の核酸サンプルからの cDNA ライブラリー作製が可能です。

(3) シングルセル解析

1 細胞レベルでゲノム配列の決定や RNA 解析を行うことで、細胞集団の平均的な解析ではなく、個々の細胞の解析をする事が可能になる技術です。iPS 細胞に代表される再生医療用細胞の品質評価や疾患メカニズムの解明にシングルセル解析が用いられます。

当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。